

平成27年 第4回 岐阜県議会定例会 一般質問

第4回定例会にて初めて、一般質問に登壇させて頂きました。
皆様から賜りましたお心に報いる為にも志を高く持ち、訴えてきた政策を
市民の皆様と実現させてまいります。

林業の振興について

年齢構成の平準化に向けた今後の取り組みについて
木材生産コストの低減を図るための林業事業者に対する支援について

精神疾患を持つ方などに対する支援について

早期対応に向けた今後の取り組みについて
現場で精神疾患を持つ方と向き合う職員に対する支援について

歯と口腔の健康づくりとフッ化物洗口の普及について

フッ化物洗口の更なる普及に向けた取り組みについて
学校現場における歯科保健教育を一層推進するための今後の取り組みについて

「精神疾患を持つ方などに対する支援について」と「歯と口腔の健康づくりとフッ化物洗口の普及について」は
次回以降の活動報告書にてお伝え致します。

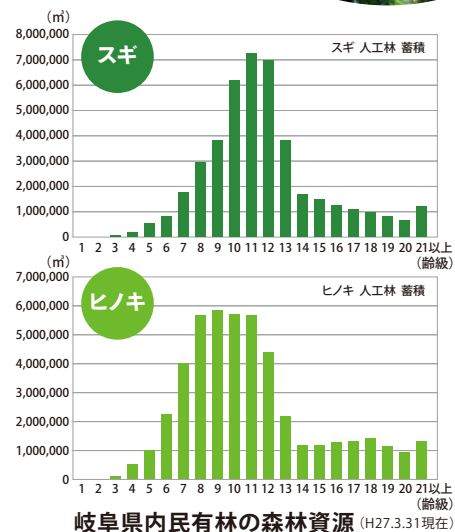
林業の振興について

木の国、山の国と称される岐阜県は、国有林を含めて全国5位、86万2,000haの
豊かな森林を有する県でもございます。この豊かな森林は長年の林業事業者の皆さんの
献身的な取り組みにより、維持管理が行われてきました。
次の世代まで安定的に豊かな森林を守っていくには課題はいくつかあります。

年齢構成の平準化に向けた今後の取り組みについて

Q 杉や檜の人工林は10齢を中心として約48%の蓄積を有し、1齢級から5齢級の蓄積は1%未満です。
すなわち約50年前に植栽した人工林が約半数を占めており、これまでの約30年間で植栽した人工林は1%にも満たしていない、
年齢構成がいびつな現状です。
年齢構成の平準化は持続的な森林整備や林業経営には、避ける
事のできない取組です。
今後の年齢構成の平準化の取組についてお尋ね致します。

A 年齢構成の平準化には、高齢級の森林を伐採して、再造林による森林の若返りが必要です。しかし、木材価格の低迷などから再造林は進まず、再造林の低コスト化が課題となります。
再造林では植栽や下刈り等の作業の低コスト化を図り、モデル事業として実施し、県下へ普及させていきます。



年齢級：林齢（森林の年齢、人工林の場合は苗木を植えた年を1年とする）を一定の幅にくくったもの。一般に5年を一区切りにし、林齢1～5年を1年齢級、6～10年を2年齢級、以下3年齢級、4年齢級という。



林業の振興は一業界や一企業を支援するだけではございません。

100年先まで豊かな森林を守っていくには林業事業者の活躍が不可欠です。

ご存知ですか岐阜県の人工林の価値を？ 6,950億円です。

木材生産コストの低減を図るための林業事業者に対する支援について

Q 国内最大級の製材工場や合板工場、バイオマス工場などの稼働により、木材需要量は向上しつつあります。一方で木材生産量の向上は道半ばで、他県産材の木材を利用している現状です。市場での木材価格の競争に勝ち抜いていける、木材生産コストの低減を図るための支援を行っていく必要があります。そこで、収益性の向上に必要な木材生産コストの低減を図るため、林業事業者に対してどのような支援を行っていくのかお尋ね致します。

A 生産コストの低減を図るには作業道の整備と高性能林業機械を活用した、効率定期的な作業方法の導入が不可欠です。そこで、作業道の開設・改良や高性能林業機械の購入の際に補助制度を活用し、支援をしていきます。又、次世代型架線集材機である、欧州製のタワーヤーダを林業事業者へ貸出すとともに、人材育成のため欧州への林業技術者を派遣し、技術習得の推進も行っています。

タワーヤーダ：高性能林業機械の一つでタワー付き集材機とも言われる。架線により伐採した木を一定の場所へ集める人工支柱を装備した集材機。移動や架設・撤去が容易で、急傾斜地での作業に向いている。